

保護者等からの事業所評価の集計結果							
公表							
事業所名	てらびあほけっと板橋駅前教室						
公表日	令和7年12月27日						

利用児童数		38 / 18	回収数					
			チェック項目					
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	0	もう少し広いとさらに良いと思う。	物品の整理を予定しています。使用者のものや、時間の中で必要な物を選別して、スペースを有効に使えるようにします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2	0	2		基準の配置を満たすものの、加配数としての配置がまだ可能であることから、採用、教育を継続しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	0	1		個室一対一のセラピーの為、常設の環境設定は最も限られています。バリアフリーではあるものの、動きにいくところがあるため、改善検討中です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	0		毎日の清掃を行っています。こちらも物品を整顿して、清掃しやすい状況を作っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	0	0	職員の退勤が頻繁であり、その都度新しい職員がはりつけますが、月数回の教育では子どもとの特性を知り切れるまでに時間がかかるよう思います。	職員の入れ替わりにつきましては、ご心配をおかけして申し訳ありません。 教育手順の見直しと、情報共有の仕組みを作り直しています。痕跡記録は常に引き継がれていますので、それが確実に生かされるように教育していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1		支援プログラムはてらびあほけっと公式ページに掲載されていますので、ご参照下さい。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		計画書の作成の際に相談支援専門員が作成する利用計画を参照しています。ニーズや方針が一致するように作成しています。
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドブック」「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	2		移行支援、家族支援は計画書の目標の5つ中、下部2つに記載しています。移行や家族支援については、新聞等で得られる内容をお伝えしています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0		原則、支援計画に基づいて行っていますが、ご不明点やズレがあると感じられる場合はお知らせ下さい。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	3		個別課題は繰り返しが多いものがあります。また、始まりの会やリズムワークでは、目標設定をしています。丁寧に専門的支援計画をご案内しています。
	11	保育所や認定こど園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	7	1	5	3	他の通ってる子と一緒にやる活動はあるし、始めの頃は幼稚園に様子を見に行ってくださったりしたので特に不安はないです。	他の子どもとの活動機会を作っていますが、ご意見をいたしました通り、通園先との連携を行える場合がありますので、ご相談下さい。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		やや細かくなり、恐縮ですが、書面を説明しております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		原案、計画の両方で説明しています。文言で分かりにくいところはお問い合わせ下さい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族会等で参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	1	1		情報提供が紙面になっていますので、今後閲覧できる動画や茶話会等でのご案内を計画しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	18	0	0	0	子供で困ったことがあった時気軽に相談できます。	ご相談のお問い合わせの際は電話、面談でお伺いしております。加算算定する場合がありますが、ご遠慮なくお声がけ下さい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援を行われていますか。	16	1	0	1		計画更新時以外にも面談を行えますので、毎回のフィードバック以外でもご相談下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0		職員には研修や日々の共有で、個々人ごとの状況に基づいた臨機応変な支援を指示しています。お気づきの点があれば、お知らせ下さい。
	18	父母の会の活動の支援へ、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	4	8		先述の通り、機械創出がまだ出来ていないので、計画します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対するそのような場があることに周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	2		面談等の案内はお問い合わせの際や、契約の際にお伝えしていますが、定期的な周知はおこなえていませんので、掲示や紙面で情報提供します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0		構造化のような配慮は行っていないませんが、口頭と文書の両方でお伝えするように心がけています。子供とのコミュニケーションでは、その内容を共有しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	3		新聞をお送りしていますが、発行できていない月がありますので、毎月発行できる体制を作ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	0		細かな点で、改善できると考へおり、話し合を行っています。今後、環境の中で改善していきます。

非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	1	6		各種マニュアルは相談室に設置がありますが、もう少しわかりやすく、見えやすい形で周知できるように修正します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	1	9		避難訓練は年間の中で行っていますが、これまで報告の場が限られていたこともあり、改善点の一つです。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	5		安全計画は保護者様にご協力いただく部分もありますが、上記同様取り組みが共有されるよう改善します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	5		事故発生の場合には、必ず連絡を行っています。マニュアル等は研修で今後も改善し、その場合は報告していきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	1		通所時の行動の変化がある場合、共有して、原因推測すること、通所前後の様子を保護者様にお伺いし、安心できる場所になるよう継続します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	3	0	0	行きたくないと嫌がる日もありますが、お迎えに行くと楽しかったと言う日が多いです。	行きたくない日もありますが、活動に参加できないという日は基本ありません。同意があれば、写真や動画などで様子をお伝えすることが出来ます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0	先生の入れ替わりが多いので少し不安を感じる所はあります。いつも丁寧にご指導いただいているのがうれしいです。	職員の入れ替わりにつきましては、ご心配をおかけしまして、申し訳ありません。 実定化の為の規則の明確化、研修とJTFの義務化など、教育手帳の見直しを進めています。問題があるのでしたら労働環境の是正を求めます。

事業所における自己評価結果						
公表	令和7年12月27日					
事業所名	てらびあほけっと板橋駅前教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	物を整頓して、安全に使えるように配慮しています。		発達支援室は問題ないが、エントランス部分が狭いので、安全面から検討の余地がある
	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	少し少ないと感じることがありますが、職員間で声をかけてできるだけ、保護者様の不便がないようにつとめています		職員数が減っているので、増やしていくには子供に対しての職員は揃っているが、利用者様をおまたせしてしまう時があるので、工夫が必要
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	子どもに合わせたコミュニケーション方法を考えています。		
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	清掃の手順が掲示されていて、それに沿つて行うことができる。 必ず、手順に従って、清掃している。マニュアル動画もある。		
	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0			
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	終礼で振り返りしている		十分にできていないところがある。基準はあるので、スケジュールの中で改善していく。
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	年に一回行っている。		
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員会議を行っていないので、十分とは言えないが、考えを話すことで折衝する場がある。 終礼で個人の様子を共有しています。		
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	内部監査で本部から、年に一回基準遵守の確認を受けている。 第三者ではないが、てらびあほけっとの本部で確認をしていること。		
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	規則で定められており、参加している。 必ず研修に参加する。 セラピスト研修を全員受講しています。		
提携的な支援の供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	作成公表されているが、わかりにくいという利用者からの回答があったので、周知方法を検討。		
	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	ファイルに纏められている。		
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	十分な時間が取れているとは言えないが、月のスケジュールの中で行っている。		
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	フォーマルアセスメント（発達検査記録など）は外部で受けられたものを共有いただいた場合のみ。		
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	事業所でのインタークだけでなく、サービス等利用計画を参照しながら作成している。		
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	行っているプログラムの進み具合やこれからの目標について話しています。		
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	飽きてしまわないよう工夫しています。 タイムテーブル上では、同じだが、成長に伴って目標が変わるために、毎回行っていることが固定化していることはない。記録から固定可していることが確認できれば、達成段階を変更するなどしている。		
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0			
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	朝礼を行っている。		
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	気づきの共有を終礼で行っている。 時間が設けられている その日の気付きを話しています		
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	必ず記録を取り、その読み書きの仕方は研修を全員が受講している。 記録について、どのようにしたらいいか、相談もしている		
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	実施する場合は担当者が児発管が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	ご希望があれば、可能な方法で連絡、連携を取り、家族支援ができるよう正在している。同法人の事業所と協働することもある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	園からの依頼や就学時などに書面の記載が必要な際は、主旨や保護者の意向などをお伺いしたうえで協力している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	全てではないが、依頼があった場合は書面記載や連絡、見学受け入れなどを行っている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答）地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答）地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	北区児童発達支援センターが企画されているものに参加したことがある。今後も予定を調整して、参加していく。 今はまだありません 他職員が受けできている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	3	事業所としての交流はないが、子供の学びや困り事を解決するために、園などと連携することがある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	通所時に必ず、お伝え、お伺いをしています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上に図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアメント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	新聞としてお配りしている中に記載している。ただし、保護者会など開いて、情報提供や保護者同士のつながりを作りたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	書面が多いが、必ずすべて説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	インテークや更新の面談で書面、口頭で伺っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	原案、正案ともに説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	通所時や、更新面談時の他に、季節の変わり目にご相談いただくことがあり、調整しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	行えていないので、実施する。 必要だと話しているが、具体的にまだ取りかかれていない	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	フィードバック時にお伺いした場合は、共にしたうえで回答してもらっている 可能な限り、回答を早くしているが、情報をお伺いすることと、対応策のみに終始せずに、療育課題の中で、子供の学習設計を直すことによって、短期的な解決策のみにならないようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	公式LINEアカウントを使用している。 利用予定は今後クラウド化の予定。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	児童の個人情報については、研修を行ったうえで仕組みの修正が必要な部分がある。職員への理解をまず作っていくことから始めていく。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	子供に対しては、声を掛けるだけでなく、反応を待つ。気づくことを複数名で行っている。保護者さまとは口頭だけでなく、文字や掲示でのコミュニケーションを考慮している。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	外部との共同作業などは無いと思う	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	実施しているが、周知が間に合っていないので、周知方法、周知スペースなどを整える。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	机上訓練が多くなっているが、他事業所、法人本部と連携して訓練を進めている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	インテーク時に聞き取り。更新時に確認。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	食事を摂ることがないが、確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画に基づいて、法人本部と研修を進めているが、前述の通り、周知は改善が必要。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	気づきの共有から、必要に応じて、ヒヤリハットを記入させている。また、振り返りを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	年に一回以上、研修を行う。委員会で管理をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	身体拘束を行わないで、支援できる環境設定を説明することから行っている。そのうえで、必要な課題設定をして、進めながら、環境設定を変更していくことで、日常生活でも怪我の心配が無いように段階的に計画している。	

事業所における自己評価総括表

公表	令和7年12月27日			
○事業所名	てらびあぽけっと板橋駅前教室			
○保護者評価実施期間	令和7年12月5日 ~ 令和7年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日 ~ 令和7年12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の療育と研修制度によって、子供の日常生活の中での困りごとが、どのような背景によって、生じているのかを細かく確認することができるこど。	本部の療育研修は全員受講しています。プログラムや課題の検討は児発管が行いますが、研修を受けて、理解しているからこそ、すぐに課題やご移行の変化に対応できていると感じています。	利用者様にとって、よりわかりやすいものにしていくことだと考えています。できるだけ平易な言葉を使っていますが、実際の様子をご覧頂く機会は少ないので、何を行っていて、それがどういう本人の成長につながるのか。大人の関わり方にについて等。
2	利用者さまとのコミュニケーションの機会が多いこと。 これは送迎を保護者様に行っていただいていることもありますが、対面で療育担当者が話ができる機会があります。	フィードバックの時間は、他の利用者様をおまたせしないように、時間の目安を決めていること。ご相談は都度伺いつつも、慎重な対応をするため、事後に共有してから回答していることです。また、就学や通園等での相談については、別途時間を調整しています。	フィードバック以外の相談の機会の充実です。職員体制をある程度増やしていくことと、地域資源や幼児期の育ちの理解を深める教育の機会も作っていきます。また、茶話会などの情報提供の機会も作っていきたいです。
3	利用しやすい場所にあること。板橋駅から徒歩1.2分程度の場所で、近隣は板橋区、豊島区とも接しており、保育園、幼稚園も多い場所です。他区の方にはあまり知られていないため、周知をしていきたいと考えています。	事業所新聞の作成を行っており、園や相談支援事業所へ配布して、活動や療育そのものを知ってもらえる窓口にしています。	北区以外の板橋区、豊島区の施設にも周知を広げて、地域で利用できる発達支援として知っていただくことです。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がないこと。利用者様に送り迎えをお願いしています。	マンツーマンでの療育を行うため、送迎を行う人員確保はできていません。東京都内ということもあり、モノの確保の難しさがあります。	現在、希望の方には駐車券の配布を行っています。また、自転車は建物所有者から許可を得て、一階屋外通路に停めることができます。JRや都営地下鉄とも近いので、場所の周知も必要です。北区以外の方には周知されにくい現状があります。
2	茶話会、保護者会など、保護者同士の集まりの機会がないこと。	人員体制、および教育体制がまだ十分ではないと言えます。また、利用者様同士のプライバシーの課題もありますので、法人内他事業所のノウハウの収集も課題です。	職員体制や、法人内の協力。利用者様のニーズについては、事業所内だけでなく、相談支援事業所の意見も伺ってみたいと考えています。また、園との連携もあるため、保護者と園の先生が同じ文脈で話せるようなテーマもあってよいかと考えています。
3	板橋区、豊島区の方からの認知が少ないこと。	板橋区にも豊島区にもてらびあぽけっとはあるのですが、徒歩圏内でも気づかれていない場合があります。他区では、行政資料等での掲載が無いため、近くでも探しにくいことがあるようです。	近くにあったことに気づいて、通所先を変更される方もおられるので、インターネットや、園、相談支援事業所への周知を行っていくことで、認知していただけるように周知活動を行っていきます。